

ヒマラヤの集い2026

8000M峰14座に 通った23年間

参加費 無料
予約不要
先着100名

写真家
講師 石川直樹



講演内容

2001年にエベレストに登頂。それから23年間にわたって、ヒマラヤの高峰に挑み続け、長かった旅に一区切りをつけることができた。人間が後から付した"14座"という恣意的な括りに大きな意味はないが、自分はどこかでヒマラヤ高峰への旅に区切りをつける必要があった。

開催場所 コンセーレ・アイリスホール（宇都宮市駒生1-1-6）

日 時 2026.2/11(水祝) 14:00 ▶ 15:45 (会場 13:30)

石川直樹：写真家として世界で初めて8000M峰、全14座を制覇した。

1977年東京生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。

2008年『NEW DIMENTION』(赤々舎)、『POLAR』(リトルモア)により日本写真協会賞新人賞、講談社出版文化賞。2011年『CORONA』(青土社)により土門拳賞。2020年『EVEREST』(CCCメディアハウス)、「まれびと」(小学館)により日本写真協会賞作家賞。2023年東川賞特別作家賞。2024年紺綏褒章を受賞。著書に開高健ノンフィクション賞を受賞した『最後の冒険家』(集英社)、『地上に星座をつくる』(新潮社)、『最後の山』(新潮社)、他多数。

主催

公益社団法人 日本山岳会栃木支部
一般財団法人 栃木県青年会館コンセーレ

問合せ(コンセーレ 高秀)
028-624-1417

後援 一般社団法人 栃木県山岳・スポーツクライミング連盟